

根尾谷断層（地震断層観察館）

施設管理者 : 根尾村
施設所在地 : 岐阜県本巣郡根尾村板所 625-1
調査見学時期 : 平成 11 年 11 月 12 日

施設概要

根尾谷断層は、濃尾地震（1891 年 10 月 28 日）で生じた 6m もの地層の上下ズレが明白にわかるものとして国の特別天然記念物に指定されている。施設は、この断層が見られるピラミッド形の地下観察館と地震の仕組みやメカニズムを学ぶことができる「触れるゾーン」、立体映像と起震により震度 2～7 の振動が体感できる「体震ゾーン」などの施設がある円柱形ドームの地震資料館からなっている。

濃尾地震概要：

地震形態：根尾谷を震央とした内陸（直下）型地震で有史以来、内陸型地震としてはマグニチュード 8.0 で国内最大規模。

地震断層延長距離：80km（福井県—根尾村—可児市）

地震変位量：8m（最大横ズレ）

